

安全データシート (SDS)

作成日 2026年1月20日

1 化学品及び会社情報

【化学品の名称】 ; 片付け簡単広がるシート

製品コード(品番) ; KKH-PU、-YE、-PI、-OR

【提供者の情報】

会社名 ; ヤマト株式会社

住所 ; 〒103-8571 東京都中央区日本橋大伝馬町 9-10

担当部門 ; 研究開発室

電話番号 ; 03-3662-7031(代表) FAX 番号 ; 03-3662-8817(代表)

緊急連絡電話番号 ; 03-3662-7424

推奨用途及び使用上の制限 ; シート等。

2 危険有害性の要約

【GHS 分類結果】

物理化学的危険性 ; 分類できない

健康に対する有害性 ; 後述の 11 有害性情報を参照

環境に対する有害性 ; 後述の 12 環境影響情報を参照

【GHS ラベル要素】 ; 該当しない

GHS 分類区分に該当しない危険有害性(粉じん爆発等) ; 特にはなし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要 ; 特にはなし

3 組成及び成分情報

本製品は成形品の為、GHS の対象外です。

【化学物質・混合物の区別】 ; 成形品混合物

【化学名又は一般名】 ; テープ付フィルム

GHS 分類に寄与する不純物及び安定化添加物 ; なし

【成分及び成分情報】 :

テープ :

基材 : 和紙(重量 60 -70 %)

粘着剤 : アクリル系粘着剤(重量 30 -40 %)

背面剤 : 合成樹脂混合物(重量 0 -10 %)

フィルム :

ポリエチレン (99%以上、添加剤 1%以下)

4 応急措置

【吸入した場合】 ; 吸入した場合 : 成形品のため、吸入の可能性は小さい。溶剤臭または燃焼ガスを吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移す。異常を感じた場合は医師の診断を受ける。

【皮膚に付着した場合】 ; 溶融物が付着した場合には、衣服の上から大量の水をかけ、十分に冷却し、衣服を脱がせ、医師の手当を受ける。皮膚にかぶれ、痛みなどがある場合は医師の診断を受ける。

【眼に入った場合】 ; 切れ端や破片などが眼に入った場合には眼球を傷つける可能性があるため、

清浄な水で最低 15 分以上洗い流す。痛みや刺激が継続するようであれば、医師の診断を受ける。

【飲み込んだ場合】；可能であれば吐き出させ、異常を感じた場合は医師の診断を受ける。

予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状；特にはなし

応急処置をする者の保護；特にはなし

医師に対する特別な注意事項；特にはなし

5 火災時の措置

【適切な消火剤】；水、粉末、炭酸ガス、泡など

【使ってはならない消火剤】；特にはなし

火災時の処置に関する特有の危険有害性；特にはなし

特有の消火方法；一般火災と同様で特にはなし

消火を行う者の保護；不完全燃焼による一酸化酸素が発生する可能性があるため、防毒マスク等の保護具を着用する。断熱手袋などの適切な保護具を着用する

6 漏出時の措置

【人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置】；特にはなし

【環境に対する注意事項】；廃水系などの水面へ漏出した場合は、魚類、鳥類等への悪影響もあるので全て回収すること。

【封じ込め及び浄化の方法及び機材】；ペレット、粉末共に床面に残ると滑る危険性が高いので、こまめに処理する。すみやかに掃き集めて紙袋などに回収する。

7 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】；

技術的対策(ばく露防止、局所排気など)；皮膚への接触、眼へのばく露を避ける、取扱い後に手や顔などを良く洗う。十分に換気を行う。

安全取扱注意事項(粉塵発生防止など)；ペレット状の樹脂は、常温では引火のおそれは無いが、作業場では火気をみだりに使用する事を避け、整理整頓に努める。粉末状の樹脂が存在する時は、粉塵爆発の可能性があるため、これらの滞留を避ける。空気移送、バグフィルター、ホッパー等の設備は静電気を除去するための接地を行う。

接触回避(非混合化学物質など)；特にはなし

【保管】；

安全な保管条件；変質、変形を防止するため、直射日光、水漏れ、湿気、熱を避けて常温で保管する。火災を防止するために、火気、熱源、発光源から離れた場所で保管する。

安全な容器包装材料；特にはなし

8 暴露防止及び保護措置

ばく露防止

許容濃度；データなし

設備対策；粉塵が発生する場合、又は溶融混練で蒸気、ガスが発生する場合は、局所排気装置を設置するのが望ましい。

【保護具】；

呼吸用保護具；通常は不要であるが、粉塵が多い場合は防塵マスクを着用するのが望ましい。必要に応じて適切な呼吸用保護具を着用する。

手の保護具；通常は不要であるが、必要に応じて適切な保護手袋を着用する。

眼の保護具；通常は不要であるが、粉塵が多い場合は保護眼鏡を着用するのが望ましい。必要に応じて適切な安全眼鏡および顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具；通常は不要であるが、必要に応じて適切な保護衣を着用する。

9 物理的及び化学的性質

【物理状態】；フィルム端にテープを貼り付けたロール状

【色】；各色

【臭い】；なし

【沸点/凝固点】；データなし

【沸点又は初留点及び沸点範囲】；データなし

【可燃性】；あり

【爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界】；データなし

【引火点】；データなし

【自然発火点】；データなし

【分解温度】；データなし

【pH】；データなし

【動粘性率】；データなし

【溶解度】；水に不溶

【n-オクタノール/水分配係数】；データなし

【蒸気圧】；データなし

【密度及び/又は相対密度】；データなし

【相対ガス密度】；データなし

【粒子特性】；データなし

10 安定性及び反応性

【反応性】；特にはなし

【化学的安定性】；通常の使用条件下では安定。

【危険有害反応可能性】；特にはなし

【避けるべき条件】；熱、炎、直射日光、凍結環境

【混触危険物質】；データなし

【危険有害な分解生成物】；データなし

11 有害性情報

【急性毒性】；分類できない(データなし)

【皮膚腐食性/皮膚刺激性】；分類できない(データなし)

【眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性】；分類できない(データなし)

【呼吸器感作性又は皮膚感作性】；分類できない(データなし)

【生殖細胞変異原性】；分類できない(データなし)

【発がん性】；分類できない(データなし)

【生殖毒性】；分類できない(データなし)

【特定標的臓器毒性(単回ばく露)】；分類できない(データなし)

【特定標的臓器毒性(反復ばく露)】；分類できない(データなし)

【誤えん有害性】；分類できない(データなし)

1 2 環境影響情報

【生態毒性】；分類できない(データなし)

【残留性・分解性】；分類できない(データなし)

【生体蓄積性】；分類できない(データなし)

【土壤中の移動性】；分類できない(データなし)

【オゾン層への有害性】；分類できない(データなし)

海洋生物、鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも投棄してはならない。

1 3 廃棄上の注意

【残余廃棄物】；廃棄する場合は関連法規及び地方自治体の基準に従う、また、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。

【汚染容器及び包装】；空容器を廃棄する場合は内容物を十分に除去する。

1 4 輸送上の注意

国際規制：国連番号；該当しない

品名(国際輸送名)；該当しない

国連分類(輸送における危険有害性クラス)；該当しない

海洋汚染物質(該当・非該当)；該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策；直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

1 5 適用法令

化学物質排出把握管理促進法；該当しない

労働安全衛生法；該当しない

毒劇物取締法；該当しない

消防法；消防法：指定可燃物（合成樹脂類）（3,000kg）

その他；該当しない

1 6 その他

1. 記載内容は入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証を与えるものではありません。
2. 危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
3. 記載内容は通常の実施を前提としたもので、特別な取扱いをする場合には、用途に適した安全対策を実施して下さい。
4. この情報は、新しい知見及び試験などにより告知なしに改正されることがあります。

出典；

- ・JIS Z 7253：2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法・ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」

- ・ JIS Z 7252 : 2019 「GHS に基づく化学品の分類方法」
- ・ 事業者向け GHS 分類ガイダンス令和元年度改訂版 Ver.2(令和 2 年 3 月、経済産業省)
- ・ 化管法に基づく SDS・ラベル作成ガイド (2020 経済産業省)